

事業所名

あぶれんどこくらきた

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7年

1月

20日

法人（事業所）理念		すべての子どもたちの社会参加を実現し、子どもたちとその家族がともに希望を持てる未来を創造していくこと。		
支援方針		リハビリテーションスタッフ（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士）による個別療育で個々の能力を高め、その能力を集団療育で応用的活動として発揮する。個別と集団の両輪で子どもたちの発達を支えていきます。		
営業時間		月～金：8時00分～18時00分 土・祝：8時30分～16時30分	【休業日】日、年末年始 (12/29～1/3)	送迎実施の有無 あり
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	連絡帳を活用した利用時の健康状態の把握、来所時及び活動中の心身の状況観察。 食事・排泄・更衣等の基本的な生活技能の獲得に向けた課題提供。 利用時の発達段階に応じた自己理解促進やスモールステップでの自己肯定感や自己効力感を高める支援。 物の配置や目印等を利用した空間の構造化、スケジュール表等を用いた時間や課題の構造化。		
	運動・感覚	利用児ごとの感覚特性を踏まえた活動や学習環境の調整。及び代替手段や対処法を含めた自己理解の促進支援。 運動スキル（粗大運動、微細運動、バランス）の向上と、それに伴う社会参加の促進を図る支援。 自己身体に関する理解や、自己身体へ注意を向けることを求める課題提供で、運動・動作・行為の基本的技能獲得を促す支援。		
	認知・行動	概念獲得の為の様々な遊びを通じた活動や認知課題の提供。 利用児ごとの認知処理特性を踏まえた学習環境の調整。及び学習方略・対処法を含めた自己理解の促進支援。 不適応行動を予防するための環境調整、及び代替手段獲得のための支援。		
	言語 コミュニケーション	お集まりや読み聞かせ、集団活動による様々な遊びを通じたコミュニケーションスキルの獲得・向上を目的とした支援。 個別療育内で、児童の発達段階に合わせた言語理解・表出の獲得・向上を図る課題提供。 発達段階に合わせた個別の読み書き支援。		
	人間関係 社会性	利用児の興味関心や発達段階に応じた活動や課題設定と、それらを通じた社会性の促進支援。 利用児の発達段階・発達課題に合わせた自己理解促進のための支援。		
家族支援		家族の子育てや困りごとに対する個別の面談や助言。 レスパイトや就労等の預かりニーズへの対応。	移行支援	園や学校に対して、児童の発達や特性に関する情報提供。 サポートブックの作成や進級・進学先への情報提供や相談援助など。
地域支援・地域連携		園や学校との情報共有や相談援助、地域の福祉施設や医療機関等との連携。	職員の質の向上	法人内での月1回の勉強会開催。支援に関わる知識・技能の向上に向けた研修会や勉強会への参加。初任者研修および職業別コースごとのスキルアップ研修。学会・学術集会への参加や症例発表。
主な行事等		季節ごとのプログラム活動（例：節分、夏祭り、ハロウィン、クリスマスなど）		